

平成 20 年 10 月 10 日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行

地名の語源を調べる

友の会会員 溝手理太郎

1970年代後半から、80年代にかけて地名研究が盛り上がった。複数の出版社から県別の地名辞典の刊行が始まり、各地で地名研究会が発足したりした。また、地名保存運動も多く各地域で行われた。しかし、90年代になると地名に対する一般の関心を急速に薄らいでしまった。

とは言え、地域の歴史や習俗を調べる人にとっては、地名、特にその語源はあいかわらず関心を集めているようだ。ところが、その解釈をみると、あまり的を射ていないものが多い。そこで、地名の語源を考える時の基本的なことをいくつか述べてみたい。

まず、第一に注意すべきは、「地名」はもともとは「地点名」であるということである。現在では、地名というと行政地名が主体であるため、ある一定のエリアを指すものというイメージがある。埼玉県とか川越市といかいうように。しかし、もともとは、ある地点を指すことばとしてできたものといえる。したがって、古くからの地名の場合、広い地域を示す解釈をするのは間違いといえる。たとえば、埼玉を「先多摩」つまり、「多摩郡の先の地」と解釈する例などがそれだ（ちなみに「埼玉」は行田市に現在も存在する地点名、ただし、音は「さきたま」である）。

次に注意すべきは、やはり基本は地形地名ということだ。もちろん、「大宮」とか「本庄」のように、あきらかに歴史に基づく地名も、存在する。しかし、その種の地名は比較的是っきりしており、解釈が著しく別れるものは少ない。したがって、解釈がはっきりしないものについては、同じかよく似た形の地名を比較し、それに共通する地形を考えると、妥当な解釈を得られることが多い。たとえば、「クキ」は「高くなった所」をいう地名用語、「ヤ」は「湿地」というように。

ことばの方からいうと、まず日本語で解釈することが大切だ。日本の地名なら、日本語で解釈するのが当然のはずだが、アイヌ語や朝鮮半島のことばで解釈する説が、後を絶たない。しかし、現行および古資料（史料）に見える地名の大部分は日本語（漢語・漢語由来の仏教語を含む）で解釈できる。それに、アイヌ語や朝鮮半島のことばはそれほど古い形がわからない言語である。現在のそうしたことばで、古い地名を解釈しても正しい結論が得られるとはいえないだろう。また、アイヌ語については、自然人類学の見地から、それを使う人々が北海道に定住したのは5・6世紀、東北地方に南下したのはさらに後という説も出されている。そうだとすれば、関東以南の地名をアイヌ語で解釈するのは全く無意味ということにもなりかねない。

まだまだ、述べたいことは多いが、まずは、最も大切と思われる3項目を挙げてみた。

<溝手氏は「古代地名語源辞典」の共編者、「市町村名語源辞典」の著者>

ベスト10を全部見たひとなし！ ひとつだけ欠ける方もゼロ！

H19.9.21 講演会「埼玉の仏像ベスト10」アンケート集計

参加者数144 アンケート回答数99 □内の数字は回答数

1. この講演会をお知りになったのは～（該当の番号に○をおつけください。複数回答可）

- (1) 新聞 24 (紙名：朝日 15 定年時代 5 その他 4) (2) 案内のチラシ 19 (ご入手の場所は：博物館 10 県立図書館 1 町内回覧 8 その他) (3) 友の会ニュース<JUNO> 27 (4) 博物館のホームページ 1 (5) 当会ブログ 1 (6) その他 (具体的に：友の会会員の紹介 14 友人の紹介 8 文化財講習会 1 その他 2～ポスター 1 家族の紹介 1) 無回答 2

2. 本日の林宏一先生が選ばれた仏像ベスト10のうち、あなたがすでにご覧になられたのは、次のうち、どれですか？ ご覧になった仏像の該当の番号の○をおつけください。

- (1) 高山不動尊常楽院軍荼利明王像 11 (2) 桂木寺伝釈迦如来坐像 2 (3) 西光院阿弥陀如来及び両脇侍像 7 (4) 華嚴寺大日如来坐像 2 (5) 古谷本郷薬師堂薬師如来坐像 4 (6) 保寧寺阿弥陀如来及び両脇侍像 1 (7) 天洲寺聖徳太子立像 7 (8) 向徳寺阿弥陀如来及び両脇侍像 5 (9) 法光寺地藏菩薩坐像 2 (10) 円空仏 31 まったく見ていない 54

3. 博物館と友の会では、平成18年に「仏像・その見方、楽しみ方＝初歩の仏像鑑賞法＝」、平成19年には「これだけは見ておきたい＝日本の仏像ベスト10」、そして本年は「これだけは見ておきたい＝埼玉の仏像ベスト10」という講演会を開催させていただきました。平成18年、19年の講演会にご参加いただきましたか？ ご参加いただいた講演会の該当の番号に○をおつけください。

- (1) 平成18年「仏像・その見方、楽しみ方＝初歩の仏像鑑賞法＝」 13
(2) 平成19年「これだけは見ておきたい＝日本の仏像ベスト10」 16
(3) 両方とも参加していない 69 無回答 6

4. 今後、仏像関係で、どのようなイベントの開催をご希望でしょうか。（該当の番号に○をおつけください。複数回答可）

- (1) 講演会「関東の仏像ベスト10」 29 (2) 講演会「仏像の時代的特色」 39 (3) 講演会「仏像の地域的特色」 31 (4) 講演会「仏像の成立」 26 (5) 講演会「円空と木喰」 26 (6) 博物館に展示されている仏像の詳しい解説会 28 (7) 仏像ベスト10を見る見学会 38
(8) その他 (具体的に：ご記入ください：仏像・初歩、基礎講座 3 県内重文仏像特別展 1 仏像を彫る講座 1)

5. ご記入いただきました「あなたについて～

(1) お住いは～（該当の番号に○をおつけください）

- ア. 埼玉県内 (具体的に：さいたま市 66 上尾市 6 狭山市 1 所沢市 1 春日部市 3 越谷市 3
その他 (川口市 3 蕨市 2 東松山市 1 草加市 2 川島町 1 鶴ヶ島市 1)
イ. 千葉県 1 ウ. 東京都 1 エ. (その他 7)

(2) ご年齢は～（該当の番号に○をおつけください）

- ア. 20歳代 イ. 30歳代 1 ウ. 40歳代 2 エ. 50歳代 7 オ. 60歳代 44 カ. 70歳代 39 キ. 80歳代以上 6

(3) 性別は～（該当の番号に○をおつけください）

- イ. 女性 32 イ. 男性 63 無回答 4

新開館！

芳賀町・総合情報館を見に行こう！

この時節、栃木県芳賀町＜宇都宮市の東隣＞に新設オープン（10月3日）の総合情報館を見に行きましょう。

総合情報館＜知恵の環館＞は博物館・図書館・文書館の総合施設。その開設に携わられたのは埼玉県上尾出身の林宏子さんです。

これは埼玉県人として、及ばずながらも応援に行かずばなるまい！

そして、博物館の入場者数をひとりでも増やし、地元の方に「博物館も人寄せになる」ということをわかっていただくためにも行かずばなるまい～のです。

とき 平成20年11月16日（日）

集合 午前8時 大宮駅西口・ソニックビル西側

参加費 6,000円（バス・昼食・その他）

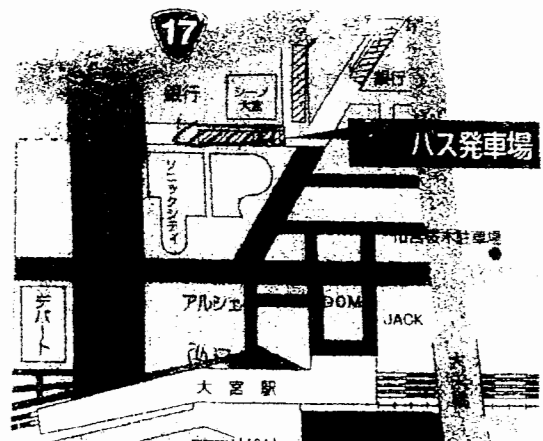
見学箇所 ＜芳賀町＞総合情報館。（「福田たね・青木繁のロマン」展）

前期の前方後方墳、亀の子塚古墳・浅間山古墳。

＜益子町＞浜田庄司の益子

参考館。陶芸メッセ益子。

西明寺（坂東観音札所）



＜予定を変更することがあります＞

参加申込み 11月7日（金）までにハガキに住所・氏名・電話番号を記入し、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。ご家族・お友達のご参加可。同じバスご希望の場合は連名でお申込ください。

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

埼玉県内の式内社と祭祀氏族

式内社＝平安時代に作られた「延喜式」(えんぎしき)に出ている神社＝は当然、その時代以前から存在していた古い神社。埼玉県下には32社あるといわれているが、これらの神社の成立の経緯とか、お祭りしたのは、誰だったのかとか、ここにも古代ロマンがある。

これらの神社は誰によって造られ、誰によって維持されてきたのか。

そのイメージをつかんでおくことは、埼玉県の古代を知るうえに大切であるし、また、神社の参拝を、何倍も楽しくするものでしょう。

お話は古代の真実に「文献史学」の立場から迫っておられる森田 悌先生。楽しいご講演が期待されます。

講 師 群馬大学名誉教授 森田 悌 氏

と き 平成20年11月30日(日)

午後1時30分～3時

ところ 埼玉県立歴史と民俗の博物館・講堂

参加費 無 料

お申込み 11月25日(火)までにハガキに住所・氏名・電話番号を記入し(友の会会員は会員番号も)〒330-0803さいたま市大宮区高鼻町4-219埼玉県立歴史と民俗の博物館へ。

<定員150名。締切前でも定員をオーバーした場合はご参加をお断りすることもあります。お断りのご連絡をいたしません場合はご参加いただけます> 友の会会員の方には先行してお知らせしていますのでお早めにお申し込みください

平成20年11月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行

縄文土器のうつりかわり ①

学芸主幹（資料調査担当） 鈴木秀雄

常設展示1室の一画、「縄文土器のうつりかわり」のコーナーには、床から壁面いっぱいには65個体の縄文土器が展示されていて、それを見ると縄文土器には、いろいろなかたちや文様があることがわかる。一番左側が最も古い時期のもので、右へ移るに従い順に新しい時期のものとなる。

縄文土器は、時期や地域によって文様やかたち、制作技法などにさまざまな特徴があり、その時期ごと、地域ごとに一定の「まとまり」をもっている。共通した特徴をもつ土器の「まとまり」は、「土器型式」と呼ばれ、「関山式」や「加曾利E式」、「安行式」などそれぞれの「まとまり」ごとに名前がつけられている。

こうした「土器型式」の新旧関係をもとに、「土器型式」を時間的な流れで配列したのが「土器編年」である。およそ1万年間におよぶ縄文時代のものさしとして使われる。

また、「土器型式」が大きく変化する段階があることに着目して、その区切り目を「草創期」（約12,000年前）、「早期」（約10,000年前）、「前期」（約6,000年前）、「中期」（約5,000年前）、「後期」（約4,000年前）、「晩期」（約3,000年前）の6期に時期区分している。

「縄文土器のうつりかわり」はまさに縄文土器の歴史をあらわしているが、それは遺跡から出土した膨大な量の土器片一片片をかき集めて格闘してきた縄文土器研究の歴史でもある。

縄文土器に興味がある方にお勧めの博物館
〈縄文土器を見る〉山梨県立考古博物館
甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園の中心施設として、1982年にオープン。

縄文文化が最も隆盛を極めた縄文時代中期、信州の八ヶ岳山麓はその中心地のひとつであり、多様な縄文土器がつけられた。ここに常設展示されている殿林遺跡出土の大型土器は、隆線で描いた直・曲線文様の構成が絶妙で、凄みさえ感じる美しさである。

また一の沢遺跡出土の一括品は、「トロフィー形」と呼ばれる独特の形態をもつ土器が中心で、その均整のとれた造形や文様の高度な技巧は、縄文土器のなかの縄文土器と呼ぶにふさわしい。完形に近い個体が、展示ケースにすらりと並ぶさまは迫力満点である。

〈縄文時代を知る〉新潟県立歴史博物館
2000年8月にオープンした比較的新しい博物館。新潟県の歴史民俗を紹介する総合博物館としての性格と、世界史的視野で縄文文化を紹介する縄文博物館としての性格をあわせ持ち、縄文時代の展示は全国有数の規模・内容を誇る。

「縄文人の世界」、「縄文文化を探る」の2つの展示室があり、新潟県奥三面のマガギ集落の民俗調査を参考につくられたとされる実物大ジオラマ展示は、四季を通じた縄文人のくらしを細部まで復元して圧巻。また複製が多いものの、火焰土器の完形品90個体を心ゆくまで堪能できる。

1月以降の友の会イベントご案内

- ☆12月23日(火)～1月7日(水) 「吉例丑づくし」＝郷土の縁起物展示販売＝
木目込み、張子、赤物のモウちゃんなどを博物館ロビーで展示販売いたします。
- ☆1月11日(日) ミュージアムトーク「弓の民俗」後
石川学芸主幹をかこんでのお茶の会
- ☆1月24日(土) バスによる見学会 <常陸風土記の丘>周辺
- ☆2月8日(日) ミュージアムトーク「なつかしの銀座、あこがれの銀座」後
駒宮専門員をかこんでのお茶の会
- ☆2月15日(日) バスによる見学会 <石仏の見方＝東松山市周辺を巡りつつ～>
ご案内・門間 勇氏(埼玉石仏協会・会長)
- ◎2月20日(金) 博物館資料特別鑑賞会「工芸品の鑑賞(甲冑)」 解説・杉山学芸主幹
- ☆3月14日(土) 特別展「誕生 武蔵武士」関連講演会
「源平内乱前夜の武蔵武士団～横山党と秩父党をめぐる2つの事件から～」
講師・木村茂光氏(東京学芸大・教授)
- ☆3月22日(日) 講演会「宮大工さんから聞く『古建築の見どころ』」
講師・大森健司氏(大森建築設計事務所)

<詳細はこのニュース「JUNO」にて逐次お知らせいたします。◎は博物館主催のもの。>

お願い 上記「吉例丑づくし」＝郷土の縁起物展示販売＝につきましては、当会が販売を担当いたしますが、その販売担当として期間中のご希望日・一日単位で、無償ボランティアにてご協力いただける方を募集しております。お申込み、お問合せは048-975-9139(TEL&FAX) 宮川まで

お 願 い

- * このニュース「JUNO」7月号でお知らせいたしました博物館のポスターを貼る、ちらしをグループの友人などに配布する協力員(アテンダント)制度にご参加お申込をいただきまして有難うございます。さらに、この制度を拡大するべく、会員皆さまのご協力をお願いいたします。博物館特別展など開催のおりにご自宅などにポスターを貼っていただく、ちらしを配布していただくことによって、博物館にチカラを貸そうとのシステムです。お申込み、お問合せは博物館・企画担当の宮さん(048-645-8171)へ。
- * これも、先にお知らせいたしました博物館の新企画「博物館おたのしみ『千両箱』」ですが、ぜひ、ご利用をお考えください。「5人以上のグループ・平日」が対象で、博物館の展示見学と体験メニューがセットになっています。展示鑑賞は学芸員の解説つきです。体験メニューでは藍染ハンカチづくりなど、中高年男性にも案外、楽しんでいただくことができます。費用もオトクです。あなたのご所属のグループをぜひ、一度、お誘いになってください。
- * 各イベントのご参加については、会員の方々へは、一般の方よりも早くお知らせしておりますので、お早めのお申込みをお願いいたします。なお、往復ハガキによるお申込みは、ご返事をする担当者がおりませんので、ご容赦をお願い申し上げます。

江戸里神楽を一挙に紹介します。

☆楽しめる公演をプレゼントします☆

予約の受付開始しています。是非ともお越しください。

皆さまと一緒に埼京線与野本町駅までどうぞ。

☆会場も出演団体もすべて一流です。娯楽企画です。☆

2009年2月20日(金)

さいたま芸術劇場小ホール

小規模ながら楽しい江戸里神楽公演が開催されます。

さいたま芸術劇場にて、埼玉県新座市野火止の石山裕雅社中が伝承している江戸里神楽(えどさとかがら)の公演が開催されます。昼の部と夜の部の昼夜興行。江戸里神楽の魅力に迫っていく企画です。お祭りでオカメ・ヒョットコが演じていた光景を覚えてる方も多いかと思います。この里神楽、芝居っけもあるしかなり面白い芸能なのです。

JR埼京線に乗り継いで、与野本町駅までお越しになってください。駅から徒歩で7分。約350席の小ホールです。どの席からも、とても見やすい舞台です。小さなイベントですが、学生ならではの工夫を用意して、とてもおもしろい公演に仕立て上げたいと考えております。是非ともご来場ください。お仲間とお越しください。

☆公演テーマ: 「楽しく、わかりやすい江戸里神楽公演」

☆日時と場所: 来年(平成21年)の2月20日(金)

☆昼の部午後1時15分開場(2時開演・4時30分終演)

★夜の部午後4時45分開場(5時30分開演・午後8時終演)

○さいたま芸術劇場・小ホール・約350席

(埼京線与野本町駅下車徒歩7分)

☆演目: 昼の部は「三番叟」「天孫降臨」など

夜の部は、「熊襲征伐」「伊吹山」でヤマトタケルが登場します。終わりはおなじみの「山神」。神代神楽を中心に構成します。

☆出演団体: 江戸里神楽・石山裕雅社中/新座市野火止☆

★料 金: 昼席、夜席の各料金は1000円です。(プログラム付き)

通し券の料金は1500円です。(プログラム付き)

★申し込み: 昼の予約席は約350席です。夜の部の予約席数も約350席です。

お誘いあって是非ともお越しください。

内容は前回よりも「満足度アップ」を目指しております。

昼公演、夜公演を一挙に鑑賞する「通し鑑賞」もお時間がある方にはピッタリです。

主 催 江戸里神楽公演学生実行委員会

特別予約鑑賞券の予約をスタートしています。

よいお席を用意してお待ちしております。

お申込・お問合せは

☆メール＝

info@edosatokagura-kouen.com

☆電 話＝<午後6時以降>

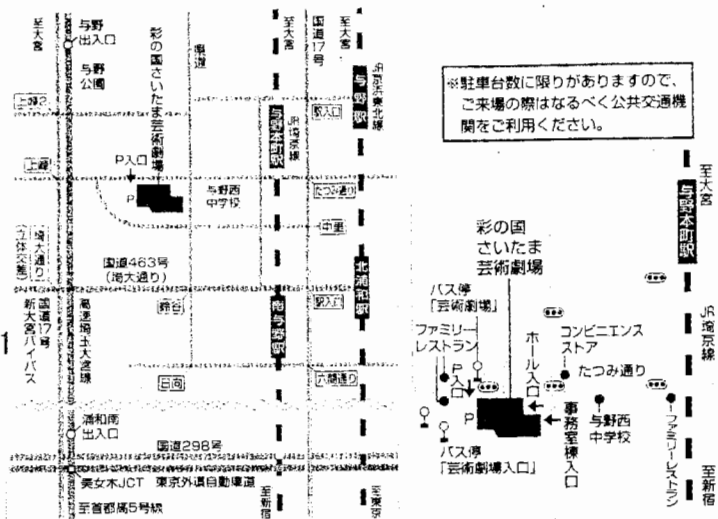
090-9953-0299 斉藤修平

☆郵 便＝

〒333-0856 川口市芝塚原 2-2-23-301

真鍋方

江戸里神楽公演学生実行委員会



〈全面・無料広告〉

古地図でわかる「さいたまのむかし」

昔を訪ねる・・・たとえば「発掘」です。それから「遺跡をたずねること」です。そして、もうひとつ、それは「古い地図を見ること」です。古地図には、はかりしれない「昔」が描かれています。例えば「埼玉」の地図を見たとき、何が分かるか。専門家は地図のどこをどう読んでいるのか・・・谷先生にその極意を教えてくださいませんか。

講師 谷 謙二先生（埼玉大学教育学部准教授）

日時 平成20年12月13日（土）午後1時30分～3時

場所 埼玉県立歴史と民俗の博物館講堂（東武野田線・大宮公園駅徒歩5分）

ご参加無料

◎ご参加お申込はご住所・氏名・電話番号をハガキに明記し、博物館友の会へ（〒330-0800

3さいたま市大宮区高鼻町4-219）へ。締切12月9日（火） お断りをしない場合はご参加いただけます。

主催 埼玉県立歴史と民俗の博物館

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

平成20年12月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行

雑・夢は荒れ野を駆けめぐる・・・

友の会参与 海老沢美代子

心地よい天気誘われてぶらっと大宮公園に出掛けてみる。サッカー戦もないのに、不思議と晴れやかな空気が漂う。桜花の下にゆったりとくつろぐ家族づれも、秋晴れのボート池周辺を愛犬の散策も兼ねてウォーキングを楽しむ夫婦も、遊園地に遊ぶ子供達もどこかに向けて動いているようだ。みどり滴る池にボートやカヤックを軽やかに走らせる若者や恋人達の明るい笑い声も。桜の花びらも、真っ赤に染まったもみじ葉も一緒に。

どうやら皆すべて、池の真ん中に架かるピカピカ橋を渡ったその向こう、鬱蒼とした赤松や雑木林の一角を切り開いた大広場に向かっているようだ。その中心、凜とした一本のポールの頂にはなにやら派手な旗がこちらにおいでおいでをしている。

そう遠くない昔まで、そう、この一角に我らの不思議な構築物はひっそり存在するだけで、華やかな氷川神社参拝客や桜栈敷からのほろ酔いまなこの全く届かない場所に隠されていたから、無理はなかった。それがごく最近ピカピカ橋を渡し、ボート池水際まで下る林の一部を伐り開いてゆったりとしたベンチ広場を造り出した。お陰で池の反対側から朱色の社を遠景に、松の緑・梅・桜などを“まずは腰かけてゆったり”満喫できるし、幸か不幸か我らの宝の存在も顕になってしまったのである。

しかし、市民県民の声がこうも迅速に実現するとは。我らの未来はなんと恐ろ頼もしき事か！

どんな宝かと、この‘埼玉県立歴史民俗博物館’をのぞいてみよう。なにやらイカついレンガ造りの概観に緊張したのもつかの間、入口の向こうには満面微笑の‘すべてが主幹学芸員’と案内スタッフのお出迎え。外光をいっぱい取り入れたそれは明るーいホール。すぐ右手一角の《友の会会員サロン》には、いつでも誰でもゆったり寛げる大きなソファ、椅子とテーブル。数人の仲間達が愉しげに果てしないお喋りや有意義な意見交換をしている。パソコンを利用して検索している男性も。囲碁を楽しんでいるひと達もいる。

ロフトには、かの著名なミュージアムカフェレストラン。あまりの美味とクールな雰囲気、その上適切な価格とあって連日予約待ち。レストランあつての博物館も週2回ガイド付き夜間展示を実施し始めたらしい。ショップも楽しい。

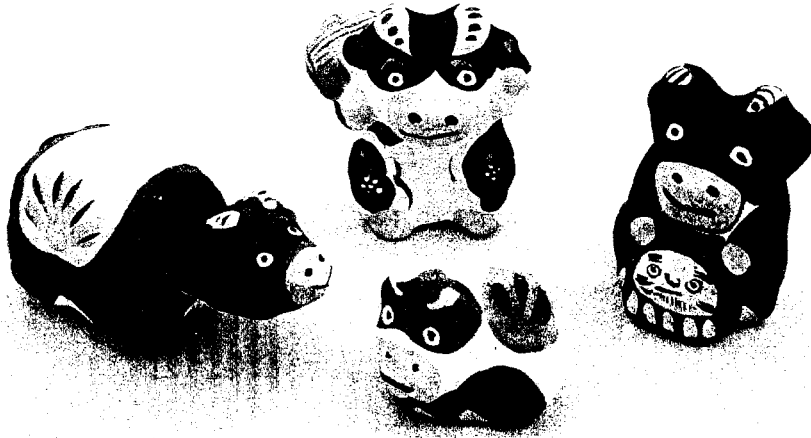
毎回古墳や板碑、遺跡ばかりでも飽きる。だが、この博物館と友の会企画はやたら面白い。新年の祝いの儀式から始まり各季節の行事や歴史風俗講座は勿論、蚊遣りテラス野外映画会、小三治などによる落語や講談講座。大人版子供版恒例お化け大会は博物館1泊。大宮公園施設合同運動会とボートレース。“全て”を子供達だけで企画・運営する全国唯一ミニ博物館は絶品、目の鱗である。

このぶんどと、そのうち愉快この上ない友の会寄り合いホームも出現しそうである。

「吉例 丑づくし」縁起物

あなたの博物館に、ございま～す

博物館のトピック展「吉例 丑づくし」(12月23日(火)～1月25日(日)開催)にあわせ、12月23日(火)～1月7日(水)に博物館エントランスホールにおいて、郷土の縁起物工芸品を販売いたします。



ぜひ、お買い求めくださ～い

販売させていただくのは、次のような縁起物です。

◎干支ベーゴマ(桐箱入り) 3,500円 ◎ベーゴマ ストラップ 1,000円 ◎根付 丑 600円 ◎根付 丑文字 900円 ◎張り子人形 豆牛 1,050円 ◎張り子人形 だるま抱き牛 3,150円 ◎張り子人形 招き牛 3,150円 ◎張り子人形 首振り牛 3,150円 ◎赤物(鴻巣) 丑 1,000円 ◎黄鮒 張り子 1,500円 ◎黄鮒 土鈴(大) 1,000円 ◎黄鮒 土鈴(小) 800円 ◎黄鮒 携帯ストラップ 500円 ◎黄鮒ぬいぐるみ 800円 ◎幸福りんご 800円 ◎七福神あめ

その他・木目込み人形なども、販売予定です。

平成20年の千秋楽、平成21年の歳の初めを

博物館で過ごすのは、なんと優雅！ なんと文化的！

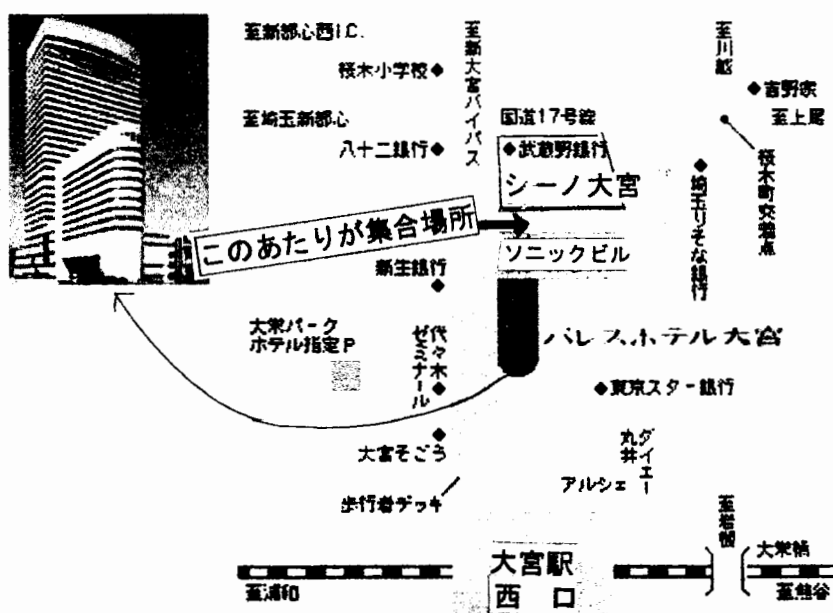
館に展示されている道具を使って、古代に生きた人たち、やさしい目の仏像などに見守られながら過ごす年末年始は至福のひとつ。博物館にぜひ、お越しください。「縁起物」をご覧ください。お買い上げください。博物館は12月29日(月)～1月1日(木)、1月5日(火)だけはお休みです。

販売のお手伝いをいただける方も募集中です

この縁起物販売は、友の会で行ないますが、販売要員が不足しています。このイベントにご協力いただける方を募集しております。技術・資格は不要です。ご都合の許す一日を友の会のためにお働きいただけませんか。ご協力いただけます方大歓迎。ご連絡を TEL&FAX 048-975-9139 みやがわへ、12月15日(月)まで。

友の会トピックス

- ① 来春4月25日は、大塚初重・明治大学名誉教授（考古学）をお招きしての講演会を予定しています。題名は「埼玉古墳群から日本の古墳文化を考える」です。詳細はあらためて、ご連絡いたしますので、その後に、お申込みをお願いいたします。
- ② 2月28日（土）午前10時から博物館にて、友の会サポーター募集のための「説明会」を行います。博物館を愛し、応援してくださる方へ、「いま、サポーターとは何をしているか。どのようなサポート方法があるのか。～」について、ご説明をさせていただきます。この友の会は、博物館から経済的にも、人的にも援助を受けず、会員の総合力で運営しております。みんなが、無償ボランティアでやっています。そのなかで、あなたは、みんなにぶら下がるだけなのか。ぶら下がられるのも一寸くらいはいいかな？ ～とお考えいただけませんか。友の会のために、あなたの「おちから」をお貸しいただきたく、この説明会にお越しいただきますよう、お願いいたします。
- ③ 友の会見学会の集合場所は、当分、こちらに決めさせていただきます。見学会のご案内には、この地図は掲載いたしませんので、ご了解をお願いいたします。



パレスホテル大宮のホームページより転載

- ④ 友の会のブログをご覧いただきましたか。簡単な方法は「埼玉県立歴史と民俗の博物館」のホームページから、入っていただくことです。中村副会長と下谷（しもや）理事が頑張っています。ご覧になるだけでなく、ご意見、ご感想などのご反応をいただければ、ありがたいですが、まずはとりあえず、ご覧のほどを～
- ⑤ 11月末で友の会会員数は303名と、300名の大台を超えることができました。創立以来3年で、このような会員数となりましたことは、皆さまのご協力の賜物と、厚く、厚く、お礼を申し上げます。しかし、まさにそれと同じタイミングでやってきたのがアメリカ発の不況です。埼玉県においても、税収不振などで、「博物館」という弱い立場のところへ、これからどのようなトバッチリが押し寄せてくるかも知れません。ともすれば文化事業への予算をカットしようとする某府知事のような無知蒙昧の輩どもに力強く対抗できるのは「会員の数」です。300に満足せず、500、1000を目標に、さらなるご協力をお願い申し上げます。

常陸風土記の丘を訪ねる

「ひたちの国」の中心は水戸ではなく、石岡でした。常陸風土記の丘をはじめ、石岡の史跡をめぐる旅は、奈良時代に常陸守として赴任してきた藤原宇合（うまかい）の姿も目にうかぶ古代ロマンいっぱいのものでしょう。

◇まわるところ～◎常陸風土記の丘 ◎常陸国分寺跡 ◎常陸国分尼寺跡 ◎鹿の子遺跡
◎常陸国府跡 ◎「まち蔵 藍」、そして茨城県最大、関東地方でも第2位の大きさを誇る舟塚山古墳（全長186M） ◎府中愛宕山古墳

「庭に立つ 麻手刈り干し 布さらす 東女を 忘れたまふな」 =万葉集=
（庭に植えた麻を刈り干したりさらしたりする 東国の女とて おわすれくださいますな）

ご案内：埼玉県歴史と民俗の博物館・学芸主幹

宮 昌 之

実施日 平成21年1月24日（土）

集 合 午前8時 JR大宮駅西口 ソニックビル西側

参加費 6,000円（バス・昼食・資料代等）

コース 大宮＝新都心IC＝千代田石岡IC＝鹿の子C遺跡＝常陸風土記の丘＝常陸国分尼寺跡＝常陸国分寺跡＝常陸国府跡＝国指定有形登録文化財「まち蔵 藍」＝舟塚山古墳・府中愛宕山古墳＝千代田石岡IC＝新都心IC＝大宮

☆ご参加お申込みはハガキに住所・氏名・電話番号・会員番号、参加イベント名を明記し、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。同じバスご希望の場合は連名でお申込みください。会員限定ですが、ご家族、お友達にご参加可能です。締切は1月15日（木）です。お断りの連絡をしない場合はご参加いただけます。

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

平成21年1月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行

本当は怖い、博物館の友の会

友の会 会長 宮川 進

昨年も、いろいろと食品疑惑がありました。牛肉、うなぎ、牛乳、竹の子・・・そして、手を変え品を変えての振り込め詐欺・・・世の中、どちらを向いても怖いことばかりです。

そして、あなたの博物館友の会も、本当は怖い会だったのです。

会費 2,000 円を払ったのだから、それ以上の会員の義務なんて知らないよ～そうおっしゃる方、あわてて退会手続きに駆け出される方、クーリングオフはできないかと考える方・・・でも、ご安心ください。「怖い」とは、そういう意味ではありません。

1.独立の「友の会」だから、怖い

ご承知のように、この友の会は博物館の「機関」ではありません。普通の「博物館友の会」といえば、デパートの友の会と同じようなものです。お客さまを「かこいこんで」、自分のところへの帰属意識をもってもらおう、たくさん買ってもらおう、というものです。

ですから、友の会といっても「ひと」は博物館のひと、「お金」も博物館が出します。「会員が運営する」ということはありません。

ところが、私たちの友の会は「会員が運営」しています。「お金」も「ヒト」もいただいけません。ヒトのチカラが必要な部分は、会員の方々に頑張っていただかねばなりません。お金は年会費と自分たちで努力したお金だけです。

しかし、独立しているのはプラスでもあります。「博物館」ができないことも、思いつかないことも、こんなことが博物館のためになるか、会員のためになるかと判断すれば、何でもできます。博物館の別働隊として機能的に、積極的な活動ができるのです。

この「何でも出来る」埼玉方式は、他の博物館に将来は怖がられる存在になるのではないのでしょうか。

2.実験的な「友の会」だから、怖い

日本中の博物館友の会で、こんなカタチのものはありません。「博物館の運営するもの」でない友の会は初めてです。まさに実験です。成功すれば、まずはとりあえず、他の博物館で、友の会にかけている人員・経費はいらなくなります。博物館の予算の組み替えをしなくてはいけないようになります。その分の予算を、特別展開催とか、新しい文化財の購入費に使っていただけるなら、これは、私たち「友の会」の日本文化に対する貢献ですよね。

お金とヒト、自前で、どんなことが、どこまで出来るか～この実験を、みんなで、やってみましょう。人員、経費以外にも、いろんなメリットが出てくるでしょう。「何が出来るか、わからない」埼玉方式も、他の博物館にとって、今後の脅威であると思われます。

3.全国で唯一という誇りをもって～

私たちは、この「怖い組織」の一員として、誇りをもって「博物館友の会」の、未知の領域を切り開いて行きたいと思うのです。

友の会・1月～3月のイベントご案内

友の会はあなたの冬を熱くします！

◎1月11日（日） 博物館・ミュージアムトーク「弓の民俗」（午後1時半～・石川学芸主幹）
のあと、友の会主催、石川さんをかこむお茶の会。
学芸担当者にお話をうかがえるチャンスです。ぜひ、お気軽にお越しください。
お茶の会の事前お申込みは不要です。ミュージアムトークについては、事前に博物館へお申込みください。=048-645-8171。

◎1月24日（土） 友の会主催・バス見学会「常陸風土記の丘周辺」 締切1月15日（木）

◎2月8日（日） 博物館・ミュージアムトーク「なつかしの銀座・あこがれの銀座」（午後1時半～・駒宮専門員）のあと、友の会主催、駒宮さんをかこむお茶の会。
お茶の会の事前お申込みは不要です。ミュージアムトークについては、事前に博物館へお申込みください。=048-645-8171。

◎2月15日（日） 友の会主催・バス見学会「石仏を見て学ぶ会」 締切2月5日（木）

◎2月20日（金） 博物館・資料特別鑑賞会「工芸品（甲冑）の鑑賞」（午前10時半～12時・解説・杉山学芸主幹）
博物館でショーケースの外からでしか、普段は見られない逸品が、あなたの目の前に～
ご参加の希望は事前に博物館へ=048-645-8171。

◎3月14日（土） 特別展「誕生 武蔵武士」関連の講演会「源平内乱前夜の武蔵武士団～横山党と秩父党をめぐる二つの事件から～」 講師：木村茂光・東京学芸大・教授
参加お申込方法はあらためてお知らせいたします。博物館・友の会・共催

◎3月22日（日） 友の会主催・講演会「宮大工さんから聞く『古建築の見どころ』」
講師：大森建築設計事務所・大森健司氏
参加お申込方法はあらためてお知らせいたします。

◎遺跡発掘見学会 3月中に実施。行き先等、詳細は未定です。
昨年は東松山市・反町遺跡、一昨年は桶川市・前原遺跡～と、いずれも当時発掘中の遺跡を訪問し、作業中の状況をご説明つきで拝見させていただきました。
今年はどちらをご案内いただけるのでしょうか。お楽しみになさってください。ただ、残念ながら、土日は発掘作業が行なわれませんので、平日実施となりますことをご了承ください。
日時、行き先は決まり次第、このニュースでお知らせいたします。

※博物館「ものづくり工房」オプションメニュー『藍の形染めのれん作り』 3月8日（日）
午前10時～午後16時 参加費6,000円（参加申込みは2月8日から博物館へ）

※博物館特別展「誕生 武蔵武士」は1月31日（土）～3月15日（日）までです。

友の会トピックス

① 5月の講演会・決まる！！

JUNO前号でお知らせいたしました4月25日（日）の大塚初重先生の講演会に続き、5月24日（日）、小林達雄先生の講演会が決まりました。

小林先生（元・国学院大学教授、新潟県立歴史博物館名誉館長）は20年4月に「縄文の思考」（ちくま新書）を刊行され、話題となりました。

演題は未定ですが、楽しいお話がおうかがいできることと思います。ご期待ください。

なお、大塚先生は当館・藤野館長のご紹介、小林先生は宮崎副館長のご紹介です。

5月24日午前中は「友の会総会」開催の予定でもあります。

<ご参加のお申込方法等はあらためてお知らせいたします>

② 学芸担当者との交流の場・お茶の会

1月11日（日）は1時30分から、石川学芸主幹のミュージアムトーク「弓の民俗」が行なわれ、その後、2時ころから石川氏をかこんで、友の会主催の「お茶の会」を開催いたします。お茶代200円は個人負担となりますが、一緒にお茶をいただきながら、学芸ご担当の方との滅多にないご交流がしていただけます。ぜひぜひ、ご参加ください。

「弓の民俗」は、時節柄、県内で行なわれる「オビシャ」から始まって、民俗分野からの「弓」に関しての興味あるお話をおはなしいただきます。

まず、その「オビシャ」とは何かが問題ですね。

2月8日（日）にも、駒宮専門員のミュージアムトーク「なつかしの銀座、あこがれの銀座」があります。この日も、友の会主催の「お茶の会」を開催いたします。万年青年・駒宮氏の若きころの銀座のお話や埼玉古墳群発掘の秘話がきけるかも知れません。

<ミュージアムトークのお申込みは博物館へ、お電話などにて。お茶の会のお申込みは不要です>

③ 年会費・ご更新をお願いいたします

4月が会員資格ご更新の時期です。ぜひ、ご継続をお願いいたします。今回、このニュースに同封させていただきました振替用紙をご利用いただいても、結構ですし、土日にも博物館ロビーでお手続きいただきましても結構です。

博物館を応援してゆくために、あなたのおちからがますます必要です。どうぞ、よろしくをお願いいたします。新会員証のお送りが、次回のニュース送付にあわせてとなることもございます。ご理解をお願いいたします。

④ さいたま市ご在住の方々対象に「友の会」説明会開催

2月28日（土）午前10時から、博物館で、「友の会」説明会を開催させていただきます。これは、会員のなかでも数が多く、各イベントのご参加も一番多い、さいたま市ご在住の方々に、さらに主体的に「友の会」の活動にかかわっていただきたいと、実際に理事、サポーターはどのようなことをしているのかをご説明する会です。

ご参加いただき、オチカラをお貸しいただくスタートとしていただければ～と思います。

<当日、会の受付付近へお集まりください>

愛染明王像
織織姫像 馬頭観音像
弁天十五童子像 天神像
八幡神像 大日如来種子板碑
俱利伽羅明王像 閻魔像
阿弥陀如来図像板碑
青面金剛像 稻荷神像
毘沙門天像 金箔薬師如来像 阿弥陀如来像庚申塔 見返り地藏菩薩像（順不同）

石仏を見て学ぶ会

- ◎ご案内 日本石仏協会埼玉支部長 門間 勇氏
◎実施 平成21年2月15日(日)◎集合 午前8時
JR大宮駅西口 ソニックビル西側
◎参加費 6,000円(バス代・昼食・資料代等)

廻る予定：小剣神社・青蓮寺・香林寺・毛塚薬師堂・閻魔堂・岩殿阿弥陀堂・岩殿観音・浄光寺・不動沼・など、いずれも東松山市内。 <予定変更の場合はご了承ください>

比企地方の中心地・東松山市にはバラエティに富む石造物があります。山岳

修験に関するもの、観音信仰に関するもの、民間信仰に関するもの、中世に

活躍した武蔵武士団の残したもの・・・ご案内に、願ってもない石仏の専門家・

門間 勇氏を迎え、上記のような石仏を学んで、あなたもその不思議な魅力

にとらえられることでしょう。（「石仏地図手帳 埼玉編」日本石仏協会編 国書刊行会刊 S63.7参照）

○ご参加お申込みはハガキに住所・氏名・電話番号・会員番号・参加イベント名を明記し、2月5日(木)までに〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。同じバスご希望の方は連名でお申込みください。会員限定ですが、ご家族、お友達のご参加いただけます。積雪中止・雨天決行お断りの連絡をしない場合は、ご参加いただけます。（キャンセルはご遠慮ください）

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

平成21年2月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行

春を待つ民俗

学芸主幹 石川博行

気温を気にしながらの暮らしの中では、やはり春は待ち遠しいものです。春は、山が一日ごとに芽吹きとともに大きくなり、また、雑木林が一斉に芽吹き始めます。特に雪国の人からは雪解けとともに一斉に山が芽吹き始めるのが待ち遠しいと聞きます。自然も、秋に葉を落とした木々は春の準備をし、ひたすら冬芽を守って春を待ちます。熊は穴で、蛙は地中で冬眠し、温かくなる春を待っています。

私たちは暮らしながら春を待ちます。山地の大滝では正月2日は山の神の祠に出掛け、持って来た米を半紙に乗せて祠に供えて一年の安全を祈り、小正月にする削り花の木を切って帰るヤマイリを行い、春を待ちます。多くのところでは、畑に出掛けて同様に祈り、畝を三作程度切るクワクレの行事もあります。

削り花用の木は、オッカドの木とも呼ばれるニワトコやヌルデです。真直ぐ伸び、芽が均等にそろったものが選ばれています。地域によっては、ヤナギやケヤキ、養蚕の盛んな地域ではカブキと呼んで数本の枝が伸びたクワを切るところもあります。選ぶ理由を一番初めに芽がでる木だからと言います。これはニワトコやヤナギなどの冬芽が膨らみ始めた春への息吹を感じて行う行事と言えます。前年の春から枝振りをそろえて準備するとも言います。

切った木は、小正月まで大切に保管し、14日に削り、門松と同じ場所に供えます。また、小正月を終えると門松や削り花などを集めて燃やす火祭りの「ドウロク神焼き」などで煙にして天に上らせ、今年一年が健やかに過ごせるように祈念します。

また、多くのところで12月から2月ころまで行われる「オビシャ」も春を待つ行事です。名称は、弓取り式、弓ぶち、あられぶつけ、天気占いなどとも呼ばれ一年の地域の安全や豊作を祈念し、弓を射る行事です。人間郡越生町は「マトウ」と呼び、古くは春を待つ正月の行事でした。現在は、小学校入学者を対象に素直で健康の心を持って成長することを祈念して4月に行われます。ここで使われる弓はモモの木です。モモの木は葉より先に花を着け、赤い花は生命の芽生えを想像させる春のシンボルとみなされています。皮は汗疹の民間薬として使われ、桃の実はいざなぎノミコトが黄泉の国から脱出するのに使ったように邪気を払うものとして古くから知られていたのです。

雪深い福島県会津地域では、春を待つ気持ちが特に強く行事に現れているようにも思います。雪に覆われた風景の中で火祭りの「賽ノ神祭り」を盛大に行い、同時に、雪野原を田に見立てた「春田植え」も行っています。家の中では、「道具の歳取り」や「餅花」も飾られており、春になるのをひたすら待っている様子が行って見ると良く伝わってきます。

連想ゲームのようですが、民俗行事は人々が「自然の息吹」から「何を想像するか」によって行事の形態も意味付けも変わってきます。これらを紐解いて、つながりを整理することで、われわれ日本人が何を思ってきたのかが理解できると思います。

これからも出掛けられる「春を待つ」行事では、小鹿野町の出原（2月25日）と伊豆沢（2月27日）の天気占い、秩父市の椋神社（3月3日）と秩父神社（秩父市蒔田 4月4日）の「御田植神事」がありますので、出掛けて見てください。一方、秩父地域で春を告げる最初の行事は、3月15日の山田の春祭りです。秩父祭囃子のリズムに乗って屋台や笠鉦が引き廻されます。この祭りを契機に盆地や山間の耕地では、春を待っていた気持ちを爆発させるように春祭りが次々と繰り広げられます。一方、自然は雪を被ったフクジュソウやザゼンソウ、フキノトウが顔を出し、木々は芽吹き始めます。

友の会トピックス

◎2月の友の会と博物館の主なスケジュール

○2月15日(日) 友の会主催・バス見学会「石仏を見て学ぶ会」

○2月20日(金) 博物館・資料特別鑑賞会「甲冑の鑑賞」杉山学芸主幹の解説で、逸品が目の前で見られます。参加申込みは博物館へ＝048-645-8171

◎友の会 サポーター 説明会

自主運営でやっている、この友の会、人手のいることは全部、会員でしなくてはなりません。一部の会員の熱意にまかせておくのか？ あなたもその一翼を担っていただけるのか？ 距離的に遠い方、お仕事に忙しい方、そういう方にご負担をとほしません。しかし、すこしでも、ご余裕のある方には、それなりの応援をお願いしたいのです。お互いに力をお貸しただいて、負担を平均化すれば、友の会としてさらにより事業ができることとなります。いまでも、理事、サポーターの方でサラリーマン現役の方もおられます。サッカーフリークの方もおられます。そういう方々の力もふくめて、この会が運営されてきました。あなたも、ぜひぜひ、博物館支援の情熱度をもう1度上げて、サポーターとなっていきたいと思いますよう、お願いいたします。

特に、会員の大多数を占める、さいたま市民の方々対象にサポーターについての説明会を開催させていただきます。サポーターとは、こういうことをしているのだ～実情をおききただいて、ご参加をお決めください。

説明会開催日時 2月28日(土) 午前10時～12時

場所 博物館講座室(講堂の横です)

事前お申込み 不要

<当日、強制的なお願いをすることはありません。お気軽にお越しください>

◎新年度会費をお願いいたします

今回も同封させていただきました振替用紙のご利用か、土日祭に博物館エントランスの友の会受付のご利用をお願いいたします。会員のご継続を心からお願い申し上げます。

◎友の会ブログを、ご活用ください

パソコンをやっておられる方、友の会のブログをご覧いただきましたか？

中村副会長と下谷理事が一生懸命、記事の更新をされています。ぜひ、お目通しをお願いいたします。博物館のホームページから入っていただくのが一番早いと思います。よろしく。

◎あなたのご所属の団体、グループに博物館のチラシをお配りいただけますか？

お願いできる方は、博物館企画担当へ(048-645-8171)へお電話ください。これも、博物館の入場者を増やす貴重なお手伝いです。あなたの周囲に適切な対象がないか、お考えください。ご登録いただければ、チラシ作成の都度、自動的にチラシが送られます。

*4月25日(土)、大塚初重先生講演会の演題が「埼玉古墳群と古代日本の騎馬文化」と変更になりました。詳細は3月発行の「JUNO」にてお知らせいたします。

*3月恒例の発掘現場見学は3月16日(月)、さいたま市大木戸遺跡(墳丘の残る方形周溝墓などあり)です。川越線にできる西大宮駅周辺です。こちらも3月の「JUNO」にて詳細お知らせします。

源平内乱前夜の武蔵武士団

～ 横山党と秩父党をめぐる 2 つの事件から～

鎌倉幕府を開く原動力となった武蔵武士。12世紀には源氏内部の争いと各地武士団の争いが複合して、さまざまな事件が起きました。そのなかの、横山党と源為義の代官・内記太郎との抗争、大蔵合戦として有名な源義平が嵐山町・大蔵館で帯刀先生義賢と秩父重隆を殺害した合戦の内情をお話いただきます。

講師 木村茂光氏 (東京学芸大学教育学部教授)

とき 平成 21 年 3 月 14 日 (土)

午後 1 時 30 分～3 時

ところ 埼玉県立歴史と民俗の博物館講堂

＜東武野田線・大宮公園駅下車徒歩 5 分＞

参加費 無料 (特別展観覧は別途観覧料が必要です)

会員で、ご参加ご希望の方は①2月14日までは、ハガキに住所・氏名・

電話番号・参加イベント名・会員番号を明記し、〒330-803 さいたま市大

宮区高鼻町 4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。②2月14日以降

は電話で博物館 (048-645-8171) へ。定員 150 名。定員超過次第締切ります。

お断りを連絡しない場合はご参加いただけます。

共催：埼玉県立歴史と民俗の博物館・埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

堂宮大工に聞く「古建築の見どころ」

県内、あるいは京都、奈良の古い建物を見て、「フーン」と感嘆するだけで通りすぎてはおられませんか。それは結構、もったいないことですよね。昔の匠が精魂込めて造ったものを、一瞥しただけで行ってしまうなんてーでも、正直言って、建物のどこを見ればよいか分からない方が多いのが現実。奈良西の京、薬師寺建築の流れを継承する堂宮大工・大森さんのお話をお聞きください。建物の見どころがわかって、あなたの歴史探訪は更に豊かになることでしょう。このチャンス、逃すと大変です。*堂宮大工とはお寺、お宮の建築に携わる大工さんのこと

講師 大森健司氏（薬師寺東塔（国宝）調査に携わった一級建築士）
とき 平成21年3月22日（日） 午後1時半～3時
ところ 埼玉県立歴史と民俗の博物館・講堂（東武野田線・大宮公園駅下車5分）

ご参加のお申込みはハガキに住所・氏名・電話番号・イベントの名・会員の場合は会員番号を明記して、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。締切3月18日。定員150名。定員超過の場合は締切ます。ご通知しない場合はご出席いただけません。

共催 埼玉県立歴史と民俗の博物館・埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

平成21年3月10日 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会 発行

円空仏の美とは

友の会 理事 斉藤文孝

鉦で彫った骨太の直線による力強い眼差しと穏やかな微笑み……それは見るものをして魅せつけてやまない。

以前から思うことだが、円空仏を見た印象が何か棟方志功の板画とよく似ているように感じられる。木彫と板画との違いこそあれ、そのフォルムは非常に近い。実際、棟方志功は円空仏が「発見」された時、さいたま市まで見にきて感激の余り涙を流したという。おそらく牛乳びんの底のような眼鏡で円空仏を抱きかかえるようにして鑑賞したのではなからうか？

ところで円空も棟方志功ばりの絵を志摩の片田に残している。釈迦や龍女の描く線はふくよかで棟方志功の絵と「瓜二つ」である。輪廻転生、志功が円空を真似たのか？ はたまた円空が志功を真似たのか？

勿論どちらでもなく、二人は違う時代に出現しお互いを知ることなく発露・表現したものが、円空の仏像であり、志功の板画であった。それほど二人の作品は似通っている。そういう意味では円空こそ志功につながる近代芸術の先駆的存在であったといえよう。

ところがである。昨秋、県博の円空仏展示で紹介されていた伴蒿蹊の「崎人伝」を見ると円空は次のように語られている。すなわち度々洪水になる池を治めてもらうよう村人に頼まれると、「そこに龍神がいるからだ」とすぐさま仏像を彫り池に沈めた話や、大きな立ち木に梯子をかけて仏像を彫る円空の絵姿をのせている。ここに語られている円空こそ、まさに修験僧そのものに他ならない。

実のところ円空は、美濃はいうに及ばず吉野、遠くは蝦夷の地においても窟籠もりをしている。木喰といい煮炊きしたものを一切口にせず、山の幸だけで生活し、修行をつづけるのである。そして暗い窟のなかで数々の仏像を彫りつづけたのである。つまり窟に籠もることを通して、山の精霊たちと心を通わせ響き合わせることによって初めて円空仏は実現されたといえよう。そこには作為など微塵もない。ただ山の精霊＝神々と融合し、無垢な心を持ちつづけた者のみが創りえた世界なのである。

そしてそれは今から1万5千年前、フランス・ラスコーの洞窟で発見されたクロマニヨン人たちによって描かれた野牛の絵にはっきりとつながっている。つまり暗い洞窟のなかでこころを開くと向こうのほうから飛びこんでやってくるもの、それを表現したものこそ円空仏でありラスコーの野牛であったのだ。その自然との融合によってできた作品に私たちは心を震わせて感動し、「美」を感じるのである。

そう考えると、地球を破壊しつくすほど科学技術を発達させてしまった私たちにも、まだ一条の光が差し込んでいるように思える。 祈り！

会員の皆さまのご協力で、このような活動ができました。

ありがたく、お礼をもうしあげます。 ()内は参加者数

- 4月19日(土) 講演会「日本人の祖先をDNAで追う」 (148)
講師・国立科学博物館・研究主幹 篠田謙一氏
- 5月25日(日) 講演会「古事記の成立」 (170)
講師・千葉大学・教授 三浦佑之氏
- 6月21日(土) 見学会「横浜へ歴史を見に行く」 (32)
ご案内・博物館学芸主幹 宮 昌之氏
- 7月31日(木) 見学会「鷲宮神社・土師一流・催馬楽神楽」 (35)
ご案内・博物館主席学芸主幹 柳 正博氏
- 8月24日(日) 見学会「今年も見に行こう！最新出土品展」 (23)
行き先・行田市・県立さきたま史跡の博物館
- 9月21日(日) 講演会「これだけは見ておきたい 埼玉県の仏像ベスト10」 (144)
講師・東京家政大学・教授(元当館館長) 林 宏一氏
- 10月12日(日) 講演会「埼玉の川のヘソを見つけた～県南東部の低地を歩く～」 (40)
講師・NPO法人水のフォーラム 藤原梯子氏
- 11月16日(日) 見学会「栃木県芳賀町・総合情報館を見に行こう」 (17)
- 11月30日(日) 講演会「埼玉県内の式内社と祭祀氏族」 (120)
講師・群馬大学・名誉教授 森田 悌氏
- 12月13日(土) 講演会「古地図でわかる『さいたまのむかし』」 (103)
講師・埼玉大学・准教授 谷 謙二氏
- 1月24日(土) 見学会「常陸風土記の丘とその周辺」ご案内・博物館学芸主幹 岡本一雄氏 (50)
- 2月15日(日) 見学会「石仏を見て学ぶ会」ご案内・日本石仏協会埼玉支部長 門間 勇氏
- 3月14日(土) 講演会「特別展「誕生 武蔵武士」関連「源平内乱前夜の武蔵武士団」
講師・東京学芸大学・教授・木村茂光氏
- 3月22日(日) 講演会「堂宮大工に聞く『古建築の見どころ』」
講師・国宝・薬師寺東塔調査に携わった一級建築士 大森健司氏
- 3月16日(月) 見学会「遺跡発掘現場見学会」＝さいたま市大木戸遺跡
＜専門家・学芸担当者とお話をする、「会員・お茶の会」＞
- 8月10日(日) ミュージアムトーク「縄文時代の土偶」のあと 副館長 宮崎朝雄氏 (17)
- 1月11日(日) ミュージアムトーク「弓の民俗」のあと 学芸主幹 石川博行氏 (10)
- 2月8日(日) ミュージアムトーク「なつかしの銀座 あこがれの銀座」のあと 専門員 駒宮史朗氏 (13)

＜鑑の着方、着せ方、研究講座「鑑！武士の姿、ここにあり」＞

○学習編 5月31日・6月7日・6月29日

○体験編 9月6日(土)、28日(日)、10月18日(土)、11月8日(土)

○埼玉サッカーカンファレンス(埼玉サッカー100周年記念)の共催

○博物館・お正月イベント「吉例 丑づくし」縁起物の販売

○ブログによる友の会活動のPR

☆ 博物館と建築学会との主催の講演会「伝統技法で茅葺小屋を建ててみた」講師・原田紀子氏 3月20日(金・祭)午後2時～4時 博物館講堂 参加費無料 参加希望者はFAX(048-861-2384)で建築学会埼玉支所に申込みこと 先着50名。メールも可 s_gakkai@zpost.plala.or.jp

早春の古代遺跡ウォーク

今年もあなたを、発掘中の古代遺跡へ特別ご招待！

縄文時代後期（約3500年前）の竪穴住居跡や弥生時代末から古墳時代初頭（約1700年前）の方形周溝墓など検出の

大木戸遺跡(さいたま市西区指扇)

周辺には、史跡もいっぱい。◎関東公方ゆかりの寺・清河寺（せいがじ）、◎火災、盗難よけの秋葉神社は本殿の彫刻が素晴らしい、◎南北朝の地藏菩薩坐像のある法願寺地藏堂跡、◎旗本・山内家の墓（市指定文化財）のある妙玖寺などなど～早春の歴史散歩も楽しめます。

ご案内 博物館・宮 昌之・学芸主幹

実施日 平成21年3月16日（月）

集合 午前10時 埼京線・西大宮駅（新駅）・改札前

<道程：遺跡は駅そばすぐ。清河寺は約2^{km}。雨天中止＝お問合せは048-975-9139 宮川まで>

参加費 資料代 100円

ご参加ご希望の方はハガキに住所・氏名・電話番号・イベント名を記入し、3月13日（金）までに〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。ご返事はいたしません。お申込みの会員の方はご参加いただけます。ご家族、お友達もご参加可。

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会

埼玉古墳群^と

古代日本の

騎馬文化

講師 明治大学名誉教授 大塚初重先生

とき 平成21年4月25日(土)午後1時半～

ところ 埼玉県立歴史と民俗の博物館講堂

＜東武・野田線・大宮公園駅下車5分＞

私たち、埼玉県民の誇り＜埼玉古墳群＞！ 謎はまだまだ深いのです。今回は古墳時代がご専門の大塚初重先生に、騎馬文化との関係について、お話いただきます。騎馬文化は遠く大陸へつながるもの～スケールの大きい、そして、古代ロマンいっぱいのお話にご期待ください。

ご参加ご希望の方は、お一人一枚ずつ、ハガキにご住所・お名前・電話番号・参加希望イベント名・友の会会員は会員番号を、ご記入のうえ4月15日(水)までに、〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町 4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会へ。＜ハガキにご記入要件がない場合は無効とさせていただきます＞ 定員(150人)に達し次第、締め切らせていただきます。お断りのご連絡をしないかぎり、ご参加いただけます。

共催:埼玉県立歴史と民俗の博物館・埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会
